

【下巻】 目次

第九章	湯の川の運命	1
第十章	大転換	73
第十一章	人間回復の闘い	187
第十二章	東京地裁	233

## 下巻の主な登場人物及び出来事

重監房

特別病室という名の悪魔の牢獄。草津に造られた。

妙法寺集落

熊本県のハンセン病集落

副島悟郎

熊本県庁の職員。元九州帝大で水野のゼミ生。

大谷富男

原告側証人。元厚生省の高官。小河原泉を師と仰ぐ。

和泉真一

原告側証人。京都大学の医師、小河原泉を信奉する。

犀川佐一

原告側証人。国の隔離政策に反対。

木霊勇次

原告団の代表の一人。「重監房は悪魔の監獄」と叫ぶ。

成田明

原告側証人。元国側の現場の責任者だった。社会も壁のない収容所だと国の政策を追及した。